

# 全鉄連流通動態調査結果表 平成29年6月分

(29.7.26)

全国鉄鋼販売業連合会

品 種	地 区	前月在庫量		仕入量		販売量		当月在庫量		
		5月実績	前月比	6月実績	前月比	6月実績	前月比	6月実績	前月比	
異形棒鋼	東京	8,096	97.0%	57,351	113.2%	59,333	116.5%	6,114	75.5%	
	大阪	5,701	98.7%	32,205	132.4%	32,851	134.7%	5,055	88.7%	
	愛知	6,607	95.3%	3,291	152.2%	3,350	134.6%	6,548	99.1%	
	計	20,404	96.9%	92,847	120.3%	95,534	122.8%	17,717	86.8%	
形鋼	山形鋼	東京	19,931	97.1%	9,604	113.2%	9,812	108.2%	19,723	99.0%
		大阪	19,817	104.9%	9,973	100.5%	9,802	108.9%	19,988	100.9%
		愛知	12,494	101.3%	6,668	107.0%	6,484	106.9%	12,678	101.5%
		計	52,242	101.0%	26,245	106.5%	26,098	108.1%	52,389	100.3%
	溝形鋼	東京	16,644	100.0%	5,586	92.8%	6,465	107.4%	15,765	94.7%
		大阪	10,611	101.9%	6,720	116.5%	5,745	103.1%	11,586	109.2%
		愛知	7,528	102.4%	5,044	110.9%	4,838	110.8%	7,734	102.7%
		計	34,783	101.1%	17,350	106.2%	17,048	106.8%	35,085	100.9%
	H形鋼	東京	32,601	101.5%	15,745	96.4%	15,882	100.3%	32,464	99.6%
		大阪	42,194	96.5%	25,535	105.7%	27,667	107.7%	40,062	94.9%
		愛知	19,503	100.9%	12,091	107.5%	12,243	110.5%	19,351	99.2%
		計	94,298	99.1%	53,371	103.2%	55,792	106.1%	91,877	97.4%
合 計		181,323	100.0%	96,966	104.6%	98,938	106.7%	179,351	98.9%	
コ ラ ム	東京	10,939	96.8%	3,507	158.5%	3,617	140.8%	10,829	99.0%	
	大阪	8,601	91.6%	4,402	125.9%	4,562	106.5%	8,441	98.1%	
	愛知	2,369	98.1%	1,607	169.0%	1,659	166.4%	2,317	97.8%	
	計	21,909	94.9%	9,516	142.9%	9,838	125.4%	21,587	98.5%	
軽量C形鋼	東京	3,702	96.7%	2,164	113.7%	2,177	107.1%	3,689	99.6%	
	大阪	2,847	98.3%	2,018	113.2%	1,959	107.0%	2,906	102.1%	
	愛知	3,384	104.4%	1,497	103.3%	1,510	115.6%	3,371	99.6%	
	計	9,933	99.7%	5,679	110.6%	5,646	109.2%	9,966	100.3%	
総 計		233,569	99.2%	205,008	112.9%	209,956	114.4%	228,621	97.9%	

(注) ①単位トン ②調査対象企業 東京31 大阪21 愛知15 合計67社

※この資料は経済産業省、鉄流懇関係者、報道機関のみ配布しています。

〔調査内容変更について〕

昭和48年4月より開始された本調査は、平成12年4月実績発表まで27年間同一フォーム内容で実施され、鋼材二次流通の実態を表す資料とされていた。しかし、この間に調査品目の中には流通性がなくなった品種、また、未調査品種ながら、市場性が高い品種など鋼材市場においてさまざまな品種の盛衰があった。そこで全鉄連常任理事会において、本調査の見直しが提議された。そして、平成12年5月分実績より従来の流通動態調査を改訂し、上記のとおり発表することとなった。

その変更内容は①調査対象品種にコラムを追加②調査対象品種よりプレーン、不等辺山形鋼、I形鋼、デッキ・キーストンを除外する③契約残調査を取り止める、以上3点である。また、本調査を「特約店流通動態調査」と称していたが、これを「全鉄連流通動態調査」と呼称変更した。これは調査機関である当会が全国鉄鋼販売業連合会に名称変更したことによる。また、平成13年5月実績をもって調査対象品種変更後1年が経過した。この間、暫定的な数量をもって時系列表及びグラフを作成していたが、それを改め月表の数値と一致するように改訂した。